校長室だより（２７）　H30.9.6.木

熊商の日々の教育活動　～　志高く、恕と信頼の人づくり　～

熊本県立熊本商業高等学校　校長　　郷　慶次

◆　中学生体験入学




７月２７日（金）、中学生一日体験入学を開催しました。猛暑の中にも関わらず１，０００人を超える中学生が来校し、体育館での学科紹介や部活動紹介を見学し、教室に移動して商業科、会計科、国際経済科、情報処理科の４学科の体験学習に参加しました。中学生には高校生活や商業高校での学習内容等でわからない点がたくさんあると思いますが、半日の体験入学を通して、熊商での学習の一端や高校の雰囲気を理解してくれたと思います。また、当日は多くの熊商生が模擬授業や案内誘導係等の担当として率先して行動したので、高校生になった時のことをイメージした中学生もいたのではないかと思います。（写真左：書道部揮毫パフォーマンス、右：吹奏楽部の演奏）

◆　部活動の活躍




今年６月の熊本県高校総体では陸上部とソフトボール部が総合優勝を果たし、陸上部は南九州陸上大会での結果も受けて、見事、東海地方５県で開催された全国高校総合体育大会「２０１８　彩る感動 東海総体」に駒を進めました。

８月初旬の大変厳しい暑さの中、陸上部は三重県伊勢市の伊勢陸上競技場で、ソフトボール部は三重県熊野市の山崎運動公園健康運動広場において全国の強豪校を相手に対戦しました。入賞等はなりませんでしたが、全国の高校生アスリートが目標としているインターハイに出場したことで、次の新たな目標もできたことと思います。大変お疲れ様でした。

いよいよ来年の全国高校総合体育大会は熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の南部九州４県で開催されます。大会愛称は「感動は無限大　南部九州総体　２０１９」、スローガンは「響かせろ　我らの魂　南の空へ」です。夏季休業中はどの部活動も懸命に練習をする姿を目にしてきました。是非、インターハイなどの目標とする大会への出場を目指して精進を重ねて欲しいと期待をしています。（写真左：インターハイ２００ｍ予選でトラックを疾走する熊商生（右から２人目）。右：インターハイ後気持ちも新たなソフトボール部）

◆　９月３日（月）２学期始業式訓話（抜粋）

進路指導の学習の際に時々「引き出し」という言葉が使われます。洗った衣類をたたんで整理して入れ、必要な時に出して着るタンスの引き出しのことです。

就職試験や大学等の推薦入試の面接試験では様々なことが尋ねられます。例えば、学校では不得意な科目をどのように克服しようと努めたか、周りの人との良好な人間関係を築くために必要なこと、部活動で得たものは何か、クラスの係で工夫したこと、学校行事ではどのような体験をしたか、検定試験とは何か等と質問されたとして、あなたは自らの考えや思いを自分の言葉で面接官の方に伝えることになります。引き出しとは、高校生活３年間、１８年間の人生を送る中で、あなた自身が学んだことや体験したこと、あるいはそれらを通して身に付けた力を認識（整理）し、伝える（外に出す）ことと思っています。

１、２年生の皆さんは充実した毎日を送り、中身のある引き出しを作って欲しいと願っています。努力していること、そして、どのような力を見に付けたかを自分なりに言えるようにしてください。

３年生の皆さんはいよいよ進路実現の時を迎えました。身に付けた力を発揮する時が来たのです。熊商での３年間、皆さんはさまざまなことに打ち込んだ結果、学力だけではなく、協調性や積極性、コミュニケーションなどの力も高まったと思います。挨拶が良いと褒めていただくこともあります。このような力や長所を入社試験や入学試験で発揮して欲しいと切に期待しています。面接試験以外でも小論文試験や科目の試験等においても、皆さんの力、引き出しが試されます。体調を整えて、これからの試験本番に立ち向かってください。就職「内定」、進学「合格」を願っています。